

【別紙】令和4年度 学校自己評価重点目標シート（川口市立芝樋ノ爪小学校）

（A4判横）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	心豊かな子 ― 進んで学ぶ子、思いやりのある子、たくましい子 ―
目指す学校像	明るく元気なあいさつと笑顔があふれる、きれいで楽しい学校

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	9名
事務局（教職員）	3名

学校自己評価					
領域	年度目標			年度評価（令和5年2月2日現在）	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	○人事異動により教職員の4割強が入れ替わった。新型コロナウイルス感染防止の徹底と児童の心身の健全な成長を促すために教育活動を効果的に行うとともに、働き方改革を推進することが課題である。	○想像力を働かせ主体的に1＋1が3になる協力体制で学校運営を進めることで、教職員の参画意識を高め、目指す学校像の実現と働き方改革を推進する。	○転入教職員に学校運営や児童の実態等を確実に伝え共通理解・共通行動を行う。 ○負担分散の分掌主任選任、一部教科担任制、専科教員の学年協力体制を実施する。 ○業務改善スタンダードを実現する。	○転入教職員を含め全教職員が共通理解、共通行動をとり教育活動や感染症対策にあたった。 ○各主任の負担過多は軽減できた。専科教員の学年サポート等により協力体制がとれている。 ○業務改善スタンダードを実施し時間外在校等時間はほとんどの教職員が月45時間を下回っている。	A ○人事異動等により教職員の入れ替わりが予想される。適切な校務分掌組織の見直しと年度当初の確実な引継ぎや教職員間のコミュニケーションが必要である。
教育課程	○コロナ禍で高学年のリーダー性の育成や下級生が上級生から学ぶことなどが以前のように行われにくくなっている。	○感染防止対策を徹底した上で児童同士が直接関わる活動を実施する。 □学習意欲の向上に重点を置いて学力を向上させる。	○学校行事や児童集会等、児童が直接人と関わる活動を感染状況に応じて可能な限り実施する。 □学習意欲の向上に重点を置いて授業改善に取り組む。 □校内研修で共通理解を図り授業でタブレット端末を効果的に活用する。	○3年ぶりに運動会、音楽会を実施し、児童が達成感を味わい、責任感や協力することの大切さなどを感じることができた。全校児童揃っての講話朝会も実施した。 □人事評価制度とリンクしたことで授業の中で学習意欲向上の手立てが多く見られた。 □タブレット端末の活用頻度は市内平均を上回った。授業での活用場面が広がり学習意欲向上につながった。	A ○教育的効果と働き改革のバランスがとれた教育課程の編成・実施・評価を行う。 ○学力向上傾向が見られる中、学習が遅れがちな児童に加え、中位層の児童を伸ばす手立てを検討する。
開かれた学校づくり	○新型コロナウイルス感染症により校内に人が入ることを制限する必要がある中、教育活動を保護者や地域に発信し、協力や連携を深めることが課題である。	○感染防止対策を徹底しつつ学校行事等を公開し、信頼される学校にする。	○保護者公開の学校行事、授業参観・学級懇談会を新型コロナウイルスの感染状況に応じて安全に効果的に実施する。 ○HPを毎日更新する。 ○学校応援団や地域の教育力を計画的に活用し特色ある教育活動を展開する。 ○学校運営協議会で学校と地域の連携について協議する。	○3年ぶりに運動会、音楽会を実施することができ、児童が達成感を味わい保護者にも好評だった。 ○学校HPは毎日更新し保護者学校評価で高評価だった。 ○学校応援団の野菜栽培や下校の見守り、自動車企業の出前授業など、効果的な教育活動を実施することができた。 ○学校運営協議会を3回開催し、貴重なご意見をいただき学校運営に生かすことができた。	A ○新型コロナウイルスの感染対策緩和を見据え、中止・制限されていた保護者や地域に関わる学校行事をそれぞれの目的やメリット、デメリットを再考し、実施や方法を検討する。
教職員の資質向上	○教育活動に前向きに取り組む教職員集団である。教材研究等の時間と場の確保が課題である。	○日々の授業を充実させる中で授業力を高め児童の学力を向上させる。 □教職員事故0を継続する。	○人事評価制度を活用し面談と授業参観を計画的に行い指導助言を行う。 ○校内研修でICT指導力と発達障害に関する指導力を向上させる。 □倫理確立委員会、研修、通達等の周知・徹底により当事者意識を常に喚起する。	○授業観察を通して指導助言を行い、学習意欲向上の手立てが見られた。 ○ICTの効果的な活用が校内に広まった。スクールカウンセラーを講師とした研修を行い発達障害に対する理解が深まった。 □教職員事故に対する当事者意識をもち児童一人一人を大切にしたい指導を行っている。	A ○校内研修等を通して、引き続き、タブレット端末を効果的に活用するための指導力を向上させる。 ○いじめ・不登校等への対応のために、研修等を通して発達障害を含めた児童理解を深め、指導力を向上させる。
施設・設備等の管理	○新型コロナウイルス感染症防止対策、経年劣化による補修、改修が必要である。 ○教室棟の外壁塗装工事が実施されるため学習環境への影響が懸念される。	○感染防止対策に万全を期す。 □外壁塗装工事の学習環境への影響を最小限にする。	○余裕教室等の活用、感染対策品の購入を行う。確実な安全点検と迅速な修繕を行う。トイレの改修を依頼する。 □工事日程等を保護者や地域に周知し、校内の音・臭い等に最善の注意を払う。	○給食、家庭科等での余裕教室等の活用、手指消毒器増設、旧P.C室バーベキュー設置、階段落下防止柵を設置した。 □外壁塗装工事は進捗状況を教職員、保護者等に周知し、学習への影響を最小限に止めることができた。	A ○通常の学級が各学年2学級になることに備え、余裕教室室等の計画的な活用と改修が必要である。 ○トイレの改修、東門付近の側溝の修繕費用が高額なため市教委への要望を継続する。

学校関係者評価	
※実施日 令和5年2月2日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・人事異動による教職員の大幅な入れ替わりがあったが、ベテラン教職員と転入教職員の確実な連携・コミュニケーション等により円滑な学校運営が推進された。昨年から取組が継続され、児童にも保護者にも混乱させない形になっていた。次年度の確実な引継ぎをお願いしたい。 ・業務改善スタンダードの実施による月45時間超の状態の改善は大変すばらしいと思う。 ・運動会、音楽会等小規模ながら復活し、全校児童揃っての朝会を実施し教育的効果が促進された。今後も対面での効果を活かして欲しい。 ・学校行事に関してはコロナ前と比べても遜色なく実施できた。今後は今年の形がスタンダードになると思うのでより充実させてほしい。 ・学習意欲向上につながり良かった。先生方の日々の努力の成果。来年度も継続して欲しい。 ・学習の遅れがちな児童に加え中位層の児童にも気を配り伸ばす考えは賛成である。 ・教職員の自己評価で児童の様子でA評価が少ないのが気になる。生活面の指導もお願いしたい。 ・学校行事が3年ぶりに実施でき児童が達成感を味わうことができた。コロナ禍において大きな学校行事を行うことにより保護者の方から学校への評価も高く期待している様子がみえる。 ・学校HPに授業の写真等を掲載し、家庭や地域に教育活動を発信することによりコロナ禍の保護者の不安を一蹴し高い評価を得ている。まさに「開かれた学校づくり」になっている。 ・様々なバランスを取ることは難しいと思うが、地域住民として協力し一緒に開かれた学校を続けていきたい。地域で応援できる行事があると良いと思う。コロナも緩和され本校の特長である地域の方との交流を行って欲しい。 ・保護者の学校評価からすばらしい成果を上げていると感じる。特にいじめの問題を見逃さず適切な指導がされているようで良い。 ・いじめを発生させないためにどうするのかや道徳の重要性を共通理解して指導願いたい。 ・ベテラン教職員を手本として転入教職員、若手教職員の更なる意識向上、授業力向上を期待する。 ・教職員のタブレット端末活用スキルを磨く機会を作って欲しい。 ・小中学校で困る児童生徒（発達障害等）の研修で連携が図れたらよいと思う。 ・校内が常に清潔に保たれてすばらしい。日頃から細心の注意をもって事故防止に努めているが引き続き全教職員の意識向上を期待する。 ・外壁塗装工事は児童の安全と学習への影響を考え無事に完了して良かった。 ・階段落下防止柵は設置されて良かった。 ・設備の維持補修は児童の学ぶ環境に直接影響する。よりよい環境づくりのためにもトイレ改修等は早く実現することを期待する。トイレ改修は校庭のトイレが優先と感じる。 ・災害時の避難所としての在り方について、町会とて更に連携をとり協力していきたい。	